

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO.78 平成26年12月・

平成27年1月 年末年始特大号

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

目次

- ◆年末のごあいさつ 理事長 安浦 寛人・・・1
- ◆データソン開催 常務理事 梶原 信一・・・1
- ◆ミュンヘン出張に際して 研究スタッフ 山田 美里・・・2
- ◆URCニュース
 - ①柳研究員「論文アワード2014」で優秀賞受賞・・・3
 - ②平成26年度 第4回都市セミナー開催報告・・・3
 - ③2014年度「アジア都市景観賞」受賞式開催報告・・・3
 - ④平成26年度市民研究員中間発表会開催報告・・・4

◆URC資料室ニュース

- ①平成26年度第3回ミニセミナーを開催報告・・・4
- ②蔵書点検、終了しました。・・・4
- ◆特別寄稿 玄界島小旅行・顛末記 増田元邦氏・・・4
- ◆マスコミでみるURCの今・・・5
- ◆ただ今、参加者募集中！イベント案内・・・6
- ◆資料速報 平成26年11～12月受入分・・・別添

年末のごあいさつ

理事長 安浦 寛人

早いもので今年も残すところあと僅かとなりました。本年もお世話になりました賛助会員の皆様を始めとする関係者各位に紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

昨年の年末のご挨拶では、「地域発展のための取組みを一層強力に推進していくことが求められている」旨申し上げておりましたが、2014年はまさにその大きな機会を福岡市が勝ち取った記念すべき年となりました。ご承知のとおり、福岡市は、全国で6地域だけが指定された国家戦略特区に選ばれました。福岡市と産学官連携組織の福岡地域戦略推進協議会(FDC)が共同提案した福岡市の戦略特区は、「グローバル創業・雇用創出特区」としてすでに取組が進んでおります。国家戦略特区の取り組みは、これまでの地域の成長に向けた取り組みをさらに加速し、日本再生を牽引する大きな国家的役割を負っております。

当研究所においても早速、まちづくり情報誌「fU+」の第14号で、「グローバル創業・雇用創出特区」の内容を皆様方に分かりやすく情報提供できるよう特集を組んで発行しました。そのほか、特区のテーマである「スタートアップ」については、昨年に引き続き総合研究のテーマとして取りあげるとともに、福岡からイノベーションを生み出していくためのプロジェクト「イノベーションスタジオ福岡」への事業支援

や、ビッグデータ・オープンデータの普及啓発、活動推進に関する取組などを積極的に行っています。

また、福岡市の国際プレゼンス向上の観点から、総合研究として海外事例を踏まえた国際競争力に関する調査研究を進めるとともに、「第5回アジア都市景観賞」などの国際交流事業も継続的に行ってまいりました。

現在、福岡市は、これまでの取組による成長への土台づくりと戦略特区の指定により、国内外から大変注目されており、様々なところから福岡の都市情報等に関する問い合わせがあります。まさに今こそ、福岡の成長につながる取組を、課題を乗り越えながら進めていく時です。福岡の成長が、九州、日本の発展を牽引するという意気込みと責任感をもって、戦略特区をバネに、地域一丸となって成長の次のステージの取組みを企画・推進していくことが必要です。

今後とも当研究所は、皆様と共に福岡の成長、未来に向けて力強く事業を進めていく所存ですので、引き続きご支援・ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方におかれましてはくれぐれも健康に留意され、輝かしい新年をお迎えくださいますことを心より祈念申し上げます。

データソン開催

常務理事 梶原 信一

11月29日に、「福岡まちあるきオープンデータソン」のイベントを開催しました。このイベントは、URCの市民研究員事業からはじまった路地市民研究会、九州IT&ITS利活用推進協議会(QPITS)、福岡市、BODIK(ビッグデータ&オープンデータ研究会in九州、福岡市、九州先端科学技術研究所(ISIT)、当研究所(URC)で事務局構成)の4団体で実行委員会を組織するとともに、ボランティア参加の方の協力を得て開催しています。

イベントの内容は、福岡の天神周辺のまち歩きをしな

がら、「世界遺産」ならぬ「世間遺産」を探して、普段気づかないがよく見る(知る)とおもしろいといったようなまちなか(建物)の風景や、モニュメント、史跡、ピクトグラム探しなどをするものです。



ただ、それだけに終わらずに、まちを歩きしながら発見したものをスマートフォン等で撮影し、そのデジタル写真に位置情報（緯度経度）や説明コメントを加えたデジタルデータに整理してインターネット上にアップロードし、広く一般に公開するまでの取り組みを行います。

パソコンを使う作業もあり、そもそも人が集まるか全く見込みが立たなかったのですが、当日は 20 名以上の方にご参加いただき、学生の方もたくさん参加していただきました。



写真出展:URC撮影 データソンの様子

データソンのイベントは、全国的にも珍しく（たぶん九州では初めて?）、実行委員会も先行事例として京都市や横浜市の取組を参考にしながら試行

錯誤で進めていく状況でしたが、イベントのアドバイザー

として京都でデータソンを実行しているMiyamaさん（ハンドルネームです。）や、このイベントそのものも応募されることとなっているアーバンデータチャレンジ事業の参加団体のジオパブリック社のコンサルの方から、地図情報のオープンデータ化に関する専門的なご助言をいただき、目標の時間内に今回のイベントで集めた福岡まち歩き情報をオープンデータとして公開できる状況にこぎつけました。

参加された方も、最初は、イベントでやることのイメージがつかめず、また、チーム内で知らない人同士ということもあって戸惑っていたようですが、最後はチーム全体で目標に到達できた達成感もあり、会場は笑い声と笑顔であふれました。関係者一同ホッとするとともに、第2弾もやってみようかと主催者側のモチベーションの向上にもつながりました。

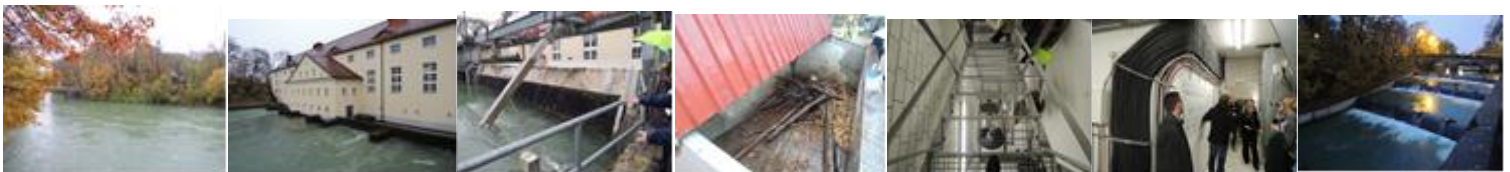
このイベントは、規模からいえばささやかな取組でしたが、福岡の地から市民参加型のオープンデータの取組として大変すばらしいものであったと考えており、今回のイベントだけに止まらず、継続した活動となり、九州・福岡のオープンデータの啓発、推進につながっていくことを願っております。

ミュンヘン出張に際して 水力発電所見学記

研究スタッフ 山田美里

11 月初旬、ミュンヘン（独）にて、福岡市を含む世界 10 都市が加盟する「国際地域ベンチマーク協議会（IRBC）」の第 7 回年次会議と欧州都市ネットワーク「Eurocities」の年次会議に参加しました。テーマは、「スマートシティ」（IRBC）と「活力ある都市」（Eurocities）でした。会議のプログラムの中で最も印象に残ったのは、水力発電所見学です。ミュンヘン公営電力会社 SWM のトレーニングセンターで SWM や見学に関する説明を受けた後、イーザル川沿いの 2 ヶ所の発電所を見学しました。一ヶ所目は、約 90 年前の建設当初の外観を残したまま、現代的な機能を持つ発電所へと 5、6 年前に改築された「Isarwerk 2（イーザル発電所 2）」でした。水量の多さや川のきれいさに圧倒されるだけでなく、枯れ木や落ち葉を漕す装置が作動するのを目の前でみせてもらい、とてもワクワクしました。二ヶ所目の「Prater（プラター発電所）」は地上に施設が何もなく、地下へ 20 メートルも狭い螺旋階段を下りる必要

があったため、恐怖により途中で断念する参加者もいました。どのようにして地中に埋める工事を行ったのか尋ねたところ、中州で分断された川の片側をせき止めて工事を行ったが、ある時ミュンヘンでは珍しい洪水が起きてしまい、工事を一からやり直さなくてはならなかった、と説明してくれました。この発電所は通常無人で運転されており、何か異常値が感知されるとすぐに担当者へメッセージが送信されます。その後、遠隔で処置できないエラーの時のみ、この施設に実際にやって来て対応する体制になっているそうです。ここは最新式の発電設備が備わっていると、施設内を案内してくれた方が誇らしげに話していた姿が印象的でした。また、トレーニングセンターで聞いた話の中に、北海で進められている複数の洋上風力発電施設建設プロジェクトのことがあり、海に面していないミュンヘンが、地域の川だけでなく遠くの家までをも利用して自然エネルギー活用に注力していることを感じました。



写真説明 左から 著者撮影

- 1) 2) イーザル川イーザル発電所 2
- 3) 枯れ木や落ち葉を漕す装置
- 4) 1 週間で満杯になる

- 5) プラター発電所への螺旋階段

- 6) プラター発電所内部

- 7) プラター発電所の地上から望むイーザル川

URCニュース

①おめでとう～柳研究員「論文アワード2014」で優秀賞受賞～

当研究所の柳研究員が執筆した「グローバル人材活躍型都市形成に向けた外国人留学生の就職支援に関する調査研究」の報告論文が、地方シンクタンク協議会が主催する「論文アワード2014～「地域活性化による日本の成長戦略」」において見事「優秀賞」を受賞しました。地方シンクタンク協議会の会員機関の研究者から応募のあった9件の論文から、惜しくも最優秀賞は逃しましたが、優秀賞に選ばれたものです(対象は、最優秀賞1名、優秀賞2名、特別賞1名です。)

表彰式は、12月18日に東京グリーンパレスホテルにて地方シンクタンク協議会の金井萬造代表幹事など関係者多数出席の中で行われました。選評では、個人で取り組んだ研究で、大変な努力の中、アンケート調査を基に、新たな切り口からの提案を行ったことに高い評価が与えられました。柳研究員の受賞は、都市政策シンクタンクとしての当研究所の評価も大いに高めるとともに、今後の研究員のモチベーションの向上にもつながるものとなりました。

写真出展：URC撮影 表彰式の様子



(常務理事 梶原信一)

②平成26年度 第4回都市セミナーを開催しました。

12月15日月曜日、本年度4回目の都市セミナー『福岡の国際競争力向上の方策～グローバル創業・雇用特区を足がかりとして～』を開催し、82名にご参加いただきました。

前半は、(1)明大専門職大学院長の市川宏雄氏より「世界都市FUKUOKAの国際評価」と題する基調講演で、森記念財団による『世界の都市総合力ランキング2014』に触れつつ、今後福岡が進むべき方向性などを、(2)当研究所久保情報戦略室長より、本年度総合研究「福岡の国際競争力に関する研究」の中間報告を、(3)FukuokaD.C.事務局長後藤太一氏に、FukuokaD.C.のプロジェクト進捗等報告を、それぞれお話いただきました。

後半のパネルディスカッションでは、西日本女性実業家協会副会長木下シャル・ヤナ氏、KAIZEN Platform inc. CEO 須藤憲司氏、福岡女子大学学長特別補佐松田美幸氏に加わっていただき、「福岡の国際競争力向上に向けて」というテーマのもと、それぞれの立場で都市・福岡の現状認識や将来への期待などを活発に語り合っていました。

ご参加の皆様からは「大変有意義だった」との感想を多くいただきました。今回のセミナーを一つの契機に、都市・福岡の成長に更に多くの方々に関心・関係を持たれることを願って止みません。

*写真出展：URC撮影 都市セミナーの様子



(主任研究員 白浜康二)

③2014年度「アジア都市景観賞」授賞式を開催しました。

去る11月18日、グランドハイアット福岡において「2014アジア都市景観賞 授賞式」を開催しました。「アジア都市景観賞」は、国連ハビタット福岡本部・アジアハビタット協会・アジア景観デザイン学会・福岡アジア都市研究所の4団体によって2010年に創設された景観に関する国際賞で、アジアの優れた景観や発展を続ける景観形成事業を評価・顕彰することによって、アジアの景観を誇らしいものに導いていくことを目的に掲げ、他都市の模範となる優れた成果をあげた都市・地域・プロジェクト等を各国・地域から募集・選考し表彰するものです。

今年で5回目を迎えるこのアジア都市景観賞は「未来へ幸せをつなぐ景観」のテーマのもと6ヵ国12団体が受賞し、授賞式には海外から中国・韓国・香港・ネパール・バングラデシュより、国内からは福岡市・姫路市・竹田市・岩手県より、受

atn アジア都市景観賞
亞洲都市景観獎
ASIAN TOWNSCAPE AWARDS



*写真出展：URC撮影 授賞式の様子

賞者と領事館来賓等の招待客延べ100名を超す参加をいただき、授賞式は盛会裏に終えることができました。今回の受賞は以下の通りです。(順不同)

【アジア都市景観賞】

- ・福岡市「博多駅を中心とした連携整備プロジェクト」
- ・姫路市「保存修理を通じて次世代に継承する人類の文化遺産姫路城とまちづくり」
- ・岩手県「東日本大震災からの復興の象徴“三陸鉄道”」
- ・韓国 釜山市「釜山クリスマスツリーフェスティバル」
- ・韓国 群山市「群山近代文化プロジェクト」
- ・中国 烏鎮市「烏鎮の新しい発展モード」
- ・中国 貴州市「貴州鰲部エコ文化リゾート区太鼓池の持続可能な景観モデル地区」
- ・中国 銀川市「環境都市 住みよい銀川」
- ・ネパール Kathmandu「バグマティ川清掃キャンペーン」

【アジア都市景観賞 審査員賞】

- ・竹田市「竹田地区街なみ環境整備事業～歴史的風致を活かした景観まちづくり～」
- ・スリランカ Colombo「独立広場改修事業」
- ・バングラデシュ Mymensingh「マイメンシン市の戦略的な都市計画」

授賞式パンフレット「2014 ASIAN TOWNSCAPE AWARDS」をご希望の方に差し上げています。この機会にご覧いただき、都市景観や本事業へのご理解を深めていただければ幸いです。

(主任研究員 夏井圭介)

④平成26年度市民研究員中間発表会を開催しました。

本年度の市民研究員は『スポーツを生かしたまちづくり』をテーマに、3名の市民研究員が7月末より少しずつ研究を進めておりますが、各人の研究テーマがおおよそ確定し、課題認識や研究の進捗について、例年どおり市民研究員 OB・OG の皆様や関係各位をお誘いし、11月13日木曜日、17:30から18:50まで当研究所会議室において、中間発表会を実施しました。先輩方の厳しくもあたたかいアドバイスをいただき、最終報告へ向かって皆さん、張り切っていました。

*写真出展：URC撮影 中間報告会の様子



URC資料室ニュース

*写真出展：URC撮影 ミニセミナーの様子

①平成26年度第3回ミニセミナーを開催しました！

平成26年12月10日水曜日 18:30から20:00まで当研究所会議室においてミニセミナー『人口減少社会における東日本大震災復興の課題—気仙沼市での復興支援体験を通じての備忘録—』会員研究員研究成果報告会を開催いたしました。

寒い中、外部から24名のご参加、誠にありがとうございました。



②蔵書点検のため、12月1日月曜日から12日金曜日まで休室いたしました！

本年度は図書資料の蔵書点検を行い、無事終了いたしました、この度より正確な所蔵情報をご提供できるようになりました。2週間にわたる休室への皆様のご理解とご協力に、深く御礼申し上げます。

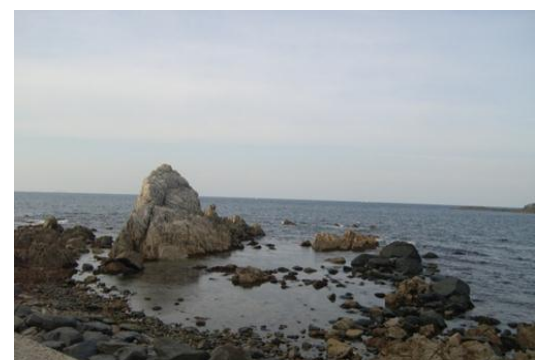
(都市政策資料室 司書 山崎三枝)

特別寄稿：玄界島小旅行・顛末記 増田元邦氏

9月24日のURCミニセミナーで、私は、西方沖地震による玄界島復興事業での景観上の課題についてお話しましたが、セミナーの後での懇親会で「玄界島に行きたい」との声がありました。そこで私は、11月23日日曜日、勤労感謝の日に玄界島ツアーを企画しました。

当日の参加者は私を含めて5名でしたが、私達は、ベイサイドプレイスで13:30発の玄界島渡航船に乗り込みました。この日は、晴天に恵まれ、穏やかな暖かい一日となりました。

私達の船は、35分後には玄界島漁港に接岸しました。私達は島に上陸すると、



引き潮で磯だまりができる 寄稿者撮影

直ぐにホークスの日本一優勝のお礼詣りを兼ねて、小鷹神社に参拝しました。小鷹神社は、豊後の国司であった百合若の愛鷹“みどり丸”を祀りした神社です。震災復興後の島内の集落を見た後は、私達は、周囲約4キロの島内を歩いて巡る事としました。約1時間強の行程です。博多湾の出口に位置する玄界島は、360°の海の景観を楽しむ事が出来ます。

海岸線は玄武岩より成る独特の岩場や、夕方の引き潮が始まった磯では、小さい磯だまりが出来ていて、磯だまりの中には小さなヤドカリがたくさん動いていました。子供達の海の生物観測には、恰好の場だと思いました。また、夕日を眺めながら、牡蠣



鯛を手下げた帰博 中央は寄稿者の増田さん

を焼きながらのバーベキューを楽しんでいる家族連れにも会いました。最高に贅沢なバーベキューの時間です。さらに進むと、海水浴に絶好な小さな浜辺に辿り着きました。漁港の近くに帰って来ると、夕日が糸島半島に落ちる間際でした。私達は、玄界西公園のベンチに座り、落日を眺めました。私は、この地の地盤を少し盛土して、“夕日の見える丘公園”にしたなら、素敵だと思いました。

17:35 発の博多への帰船を待つ間に、参加者の人達は、漁から港に帰船した漁師に掛け合せて、まだ生きているお魚を分けて貰っていました。その機会を逸した私も、“鯛一匹”のお裾わけを頂きました。皆さんは、「手が魚臭い！魚臭い！」と言いながら、鯛を手みやげに乗船し、私達の船は無事に夕暮れの迫るベイサイドプレイスに接岸しました。

この日の玄界島渡航は、晩秋の穏かな一日の“良きショートトリップ”となりました。

◆マスコミで見る「URC」の今！—最近2か月の情報を中心に—

◎新聞

(2014/12/22 西日本新聞 朝刊 9p)

聞き書きシリーズ 大学の知恵を地域のものに 22
福岡大名誉教授 阿部真也さん 欧州では郊外店規制
02年夏に福岡都市科学研究所(現当研究所)の支援を受けて欧州諸国の都市計画やまちづくりの調査を実施

(2014/12/16 西日本新聞 朝刊 36p)

来月8日にオープンデータセミナー
当研究所本年度第5回目の都市セミナーの開催予告

(2014/12/13 朝日新聞 朝刊 32p)

ICT活用で連携協定締結 県教委、大学ICT推進協と/
佐賀県

安浦寛人理事長が調印式で協議会会長としてコメント

(2014/12/10 東京読売新聞 朝刊 32p)

「田中忠三郎が伝える精神」展 藤浩志(寄稿)=青森
市民研究員 OB 藤浩志さんが寄稿

(2014/12/10 西日本新聞 朝刊 24p)

唐津街道の街並み残す姪浜の団体 まちづくり優秀賞
に “よそもん”の視点で整備

当研究所OB大塚政徳さんが事務局長を務める唐津街道姪浜まちづくり協議会の活動が表彰される。(※印=以下同じ)

(2014/12/8 西日本新聞 朝刊 6p)

聞き書きシリーズ 大学の知恵を地域のものに 11
福岡大名誉教授 阿部真也さん 新旧パワーで町再生
当研究所OB大塚政徳さんが事務局長を務める唐津街道姪浜まちづくり協議会の活動が紹介される。(◎印=以下同じ)

(2014/12/3 西日本新聞 朝刊 36p)

佐世保フォーラムで橋田氏が講演
橋田紘一会長がFDC都市再生部会長として講演

(2014/12/3 博多新聞 2p)

旧宿場町の”資源”発掘 唐津街道姪浜まちづくり協議会
西区 町家見直し町並み保存 賑わいづくりにも知恵絞る◎

(2014/12/1 愛媛新聞 朝刊 19p)

現代アート発信の歩み 松山「エスパス 21」開館20年
記録集出版「冒険する知性」多彩な試み 当時を紹介
開館1年目に行われた市民研究員 OB 藤浩志さんの活動が紹介される。

(2014/11/29 読売新聞 福岡西かわらばん第398号 1p)

世界回るヨットマン定住の夢 ヤップさん夫妻「姪浜最高」
治安はよく人々は暖かい 姪浜漁港船上生活 住民らを前に講演 ◎

(2014/11/28 日本経済新聞 朝刊 39p)

イノベのイ 福岡発 INNOVATION ▶下 事業創出 市民が先導
進取の機運企業巻き込む
イノベーションスタジオの母体として、FDCが紹介される。

(2014/11/26 日本経済新聞 朝刊 43p)

イノベのイ福岡発 INNOVATION ▶上 商都に響く創業の胎動
重厚長大に背、今追い風に
当研究所情報戦略室のデータが引用される。

(2014/11/24 西日本新聞 朝刊 26p)

26日から聞き書き新シリーズ 大学の知恵を地域のものに
福岡大名誉教授 阿部真也さん
長年当研究所の評議員はじめ、研究に関わられた阿部真也先生の聞き書き連載予告

(2014/11/19 西日本新聞 朝刊 22p)

博多駅周辺地区にアジア都市景観賞 官民連携の事業評価
当研究所が事務局を務めるアジア都市景観賞の記事(☆

印＝以下同じ)

(2014/11/15 日本経済新聞 朝刊 34p)

MICE をテコに九州の発展を～福岡地域戦略推進協議会～FDC の MICE 誘致に関する活動が紹介される。

(2014/11/14 日本経済新聞 朝刊 36p)

レンタルオフィス活況 福岡市内 新規・外資が参入 創業支援特区、追い風に

当研究所情報戦略室のデータが引用される。

(2014/11/8 朝日新聞 朝刊 26p)

日曜大工型ビル改修 観光事業めざす DIY リノベ 10～16 日にイベント

市民研究員 O B 吉原勝己さんが理事長を務める N P O 法人が開催するイベントの予告 (◎印＝以下同じ)

(2014/11/7 神戸新聞 朝刊 27p)

国連機関と近畿運輸局 城生かした施策評価 姫路市 2 賞の受賞決定 ☆

(2014/11/7 西日本新聞 朝刊 33p)

Zoom 自らの手で都市景観再生 老朽ビル、古民家改修事業－リノベーション－実践例報告や物件見学 N P O 法人が「DIY ウィーク」10-16 日、福岡県内 15 会場で ◎

◎雑誌

(2014/12/18 地方自治職員研修 2015 年 1 月号 37～39p)

「進行形！景観まちづくり－歴史的資源を活かした町

並みづくりの賑わいづくり－」を当研究所 O B 大塚政徳さんが執筆

(2014/12/1 ふくおか経済 Vol.316 2014 年 12 月号 88p)

世界に飛躍し続ける九州大学へー伊都キャンパス統合移転、新学部を設置構想進む 久保千春九州大学総長に聞く

安浦理事長が理事・副学長として紹介される。

(2014/12 建築士 KENCHIKUSHI 2014 年 12 月号 Vol.63 No.747 46p)

TOPICS 第 8 回まちづくり賞 結果報告 *

(2014/11/30 フォーラム福岡 Vol.58)

3p forward「イノベーションは魅力のある都心を求める」を後藤太一 FDC 事務局長が執筆

50～52p 都市のイメージを大事に、官民で「まちをつくる」 もっと多くの外国人に住んでもらえる福岡に 久保隆行情報戦略室長が IRBC 加盟 5 か国と福岡のデータを比較してこれからの福岡のあり方を指摘

54～55p Special Report「人が生み出す「価値」を、都心から世界へ」を情報戦略室 畠山尚久研究主査が執筆

(2014/10/20 財界九州 11 月号 No.1082 139p)

座右の銘「ひと まち 文化」

市民研究員 O B 吉原勝己さんの座右の銘が紹介される。

ただ今、参加者募集中！

ビッグデータ・オープンデータ研究会 in 九州 [BODIK] セミナー ((公財)福岡アジア都市研究所 平成 26 年度第 5 回都市セミナー) 「オープンデータがもたらす地域の成長」

【日 時】平成 27 年 1 月 8 日 (木) 14:00～16:45 (受付開始 13:30～)

【会 場】アクロス福岡 4 階 国際会議場 (福岡市中央区天神 1-1-1) <http://www.acros.or.jp/access>

【主 催】ビッグデータ・オープンデータ研究会 in 九州 [BODIK] (=福岡市、(公財)九州先端科学技術研究所 [ISIT]、(公財)福岡アジア都市研究所 [URC] の三者で構成)

【後 援】地方シンクタンク協議会九州・沖縄ブロック、福岡地域戦略推進協議会 [Fukuoka D.C.] (※順不同)

【定 員】200 名、参加無料 (申し込み多数の場合は先着順とさせていただきます。) 申込締切：1 月 6 日 (火)

～若手研究者が語る～ アジアにおける福岡・九州の魅力と課題

(公財)福岡アジア都市研究所 平成 26 年度第 6 回都市セミナー アジア情勢報告会

【日 時】平成 27 年 1 月 19 日 (月) 15:00～17:00 (受付開始 14:30～)

【会 場】アクロス福岡 7 階 大会議室 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1 TEL: 092-725-9111 (代表)

【主 催】公益財団法人 福岡アジア都市研究所【共 催】福岡市

【後 援(予定)】福岡地域戦略推進協議会・福岡よかトピア国際交流財団・福岡県国際交流センター・西日本新聞社

※参加無料 定員 80 名

申込締切：1 月 16 日 (金)



FUKUOKA 地域戦略フォーラム 2015

福岡都市圏の成長に向けて、産学官民連携プラットフォームの可能性を探る

九州を牽引する福岡都市圏の成長に向けて 産学官民連携プラットフォームの可能性を探る

【日 時】2015 年 1 月 27 日 (火) 13:00～16:45 (受付開始 12:30～)

【会 場】アクロス福岡 イベントホール【募集人員：500 名 (入場無料)】 申込締切：1 月 21 日 (水)

【主 催】福岡地域戦略推進協議会【共 催】(社)九州経済連合会、福岡商工会議所、福岡経済同友会、(公財)福岡観光コンベンションビューロー ※詳細は同封のフライヤーをご覧ください。